

平成21年度 事務事業シート(建設整備事業)

事務事業名	02堀川口防潮水門ポンプ所(改良)整備事業	コード	担当課	企画調整室事業担当
		5082402	連携担当課	(建設部)工事課・施設工事担当、港湾工事事務所、施設事務所

1 事務事業の目的・目標(PLAN)

政策の体系	政策名	5安全な港		
	基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上		
	個別施策名	24海岸保全施設の機能を維持・強化する		
事務事業の概要 (整備場所・期間・規模、総事業費・事業手法等)		場所 : 愛知県名古屋市港区 期間 : 平成14年度～平成23年度 規模 : 水門1式、ポンプ所改良1式 総事業費: 74億円 事業手法: 【補助事業】海岸保全施設整備事業(高潮対策) 海岸保全施設の機能を維持するため、堀川口防潮水門ポンプ所の改良を行います。		
根拠法令・計画等		海岸保全基本計画、社会資本重点整備計画		
事務事業の目的	対象 (誰を、何を)	堀川口防潮水門ポンプ所		
	意図 (どういう状態にしたいのか)	整備し、海岸保全施設の機能を維持する		
事業着手時点の評価 (費用対効果分析結果、事業をめぐる社会情勢の状況、期待する成果等)		堀川口防潮水門ポンプ所は、伊勢湾台風の被害を契機に整備されたが、ポンプ所の信頼性向上及び作業の軽減化による稼働準備時間の短縮を図るため、水門とポンプ所の改良を行うとともに、近い将来起こり得ると予想されている東海・東南海地震に対する耐震強化を行い、防災機能の維持を図ります。費用対効果(B/C)は63.52です。		
活動指標	事務事業の進捗状況を測る指標	単位	算出方法(式)・指標設定の考え方	完成予定年度
	事業進捗率	%	進捗率は、全体事業費を100とした整備費の割合	平成 23 年度

2 事務事業の実施(DO)

事務事業の実施内容 <平成20年度> と 平成21年度以降、シート作成時点までに変更した実施内容(ある場合) (内容は具体的に)		平成20年度は、平成19年度に引き続き土木基礎を整備するとともに、建築施設、ポンプ設備、電気設備の整備を実施しました。			
項目		単位	平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算見込額)	平成21年度 (予算額)
事業費 a		千円	686,000	1,089,000	889,000
財源内訳	名古屋港管理組合	千円	411,600	653,400	533,400
	国・県・市	千円	274,400	435,600	355,600
	その他	千円			
人件費 b		千円			
職員数	正規職員	人			
	嘱託職員	人			
	合計	人			
総事業費 a+b=c		千円	686,000	1,089,000	889,000
活動指標	事業進捗率	目標	9.0	15.0	12.0
		実績	9.0	15.0	
		事業進捗率	%	27.0	42.0
		目標			
		実績			
		事業進捗率	%		
備考(補足説明等)		人件費bは事業費aに含まれています。			

3 事務事業の検証<平成20年度実績>(CHECK)

総合所見	※実施結果から課題・問題点等を整理します。	
事務事業の改善・見直しの余地	<input type="checkbox"/> 多い <input checked="" type="checkbox"/> 少ない	※該当する項目をチェックします。
(所見欄) ※判断理由、課題・問題点等を記入します。 当初計画どおり事業進捗が図られています。		

4 事務事業の改善(ACTION)

事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 休廃止
取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 加速 <input type="checkbox"/> 減速 <input type="checkbox"/> 延伸
コスト削減裁量余地	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	

今後の改善策等(現実的かつ具体的に) ※個別施策管理シートの判定結果を踏まえ今後の改善策や取組方針を記述します。
引き続き、関係者と調整を図りながら、平成23年度の完成を目指し取り組んでいきます。